

わき民報

幽靈と職種許稱摘發

所行發
社報民きわい
(表一八入三語電)地番一町田市平
人行便後機器
己克輝千人刷印業
美五十部一円・毎月一冊・便定

北工場

市の區畫整理事務獨立

厳罰主義で臨む。平食營も乗り出す。

食糧の危機は漸く深刻化しつゝ、未だに相當ある見込みで又職ある、この餓線突破は徒らに輸移入に依存してのみゐてはなりあるものとみられてゐる、尙らない、自主的に解決の萬策を講することが肝要だと、市郡所でもこれに呼應、今日所屬は協力、海草等その他の採取粉各配給業者を集めて、縣の需給食化をはかると共に更に一方で、平地方食糧營團各支部並に出張所でもこれに呼應、今日所屬の實際を知らしめると共に前記幽靈人口及び職種詐稱の徹底的撲滅及びマル農の擴大防止に的摘發、マル農防止につき協議全幅の努力を拂ひ、不正受配者即時乗出すことになつたがマルに對しては検察當局の協力をも農に對する配給開始に當つては需めて、嚴刑主義を以つて臨む保有米の有無を調査せず即給することに決定した幽靈人口の一つと配給所も嚴罰に處せられる掃には從來屢々手を打つたものことに決つた

逆流の光濃厚

石炭發送に

四月の邊

これは新聞生活下の平郵便局空口に見る、再インフレの前奏曲——舊日當時より尻上りしか物價高は家計簿をどん（赤字）へ追込み、窮鼠猫を喰む（銀）の現象が郵局の拂出にはつきり現れて來てゐる。四月中に同局が石城、双葉の兩郡下各郵便局へ拂出に備へて送金した資金は何と千百六十萬圓で今月に入つてからも三百萬圓と百万圓の二回に亘つて日銀から引出してゐる更に四月中に同局の窓口に現れた純赤字は百三十一萬二千六百圓、一日平均四萬圓乃至七万圓三十日に僅か四百九十五圓の唯

實業校同窓會

の修理等を開始した、尙引續き
夜間事故修理、各種機具の無料
審査等々も行ふ計画で、市民の希望の申出も待つてゐる。
街燈 暗黒の街を明くる
設置 しやうと小名濱町
新川町内會では町
内會で電球を負擔し同町内のト
郎氏が内定してゐる。

車頭に供
の爲に收
正義(二三)は去る三日長倉北住
宅根本秀夫方から國防色作業ズ
れてゐたボン、海軍用夏襦袢、赤皮のベ
ンドを湯本町吹谷第三種料理店
一方こ薄楊キク方酌婦の衣類其他三件
を盗んだことを發覺九日湯本町
貞糧検査の賃
雇の賃
駐在の會田警野兩巡査に捕はれ

くとし（年々で少し下落）
郡民も正しき者は全般的に支持
すること疑ひなし、安んじてや
つて貰ひたい。

▼平郵便局の貯金状況は赤字の
連續・圓切換への効果さっぱり
見えず、逆に新圓インフレの現
象いよ／＼濃厚とある憂ふべき
哉！斯くて政局の安定と思ひ切
つた大手術の一日も早からむこ
とが祈られる。

巡回修理班も結成

資材不足と交換嬢の缺員から、
最近電話の能率低下と、ことも珍らしくなく、この
交換手の不親切が目立つて來た。平郵便きよ
く電話係の監督さんに、電話は最少限に済して欲し
て見るとその譯は、電話監督さんの談であつ
△……資材不足で交換手の疲弊が多
く、
平局労組の
サービス

出問題は未決定のまゝ

湯本の浪曲 名人大会

自由的供給に期待

引札の賛美片手に素檢の贊

に入つた東北電の争議で、平営業所では市民大衆から愛される會議であらねば收れると市内の街燈取つけや巡回修理班の活動等、サビス満点を目指し活潑な動きを始めた最も良きところへ持

郡下の供米状況は既報の如く村側から報告があつたが、現在八月三日まで漕臨検も断行する豫定。たゞ、その後毎々として村側農事實行組合、ず五月中に入つてから更に供的な供米運動に期待行が低下し、九日現在で僅か

のつていつたもの、政權に懲々大
衆の支持を忘却せんとする社會
黨幹部とは大違ひ

衣類泥御用
半の進捗状態にある、特に
部の農村は田人を筆頭に供
悪いがこれは冷害の爲に收
弊崎村大字上湯長谷
正義(二三)は去る三
勘なかつたためで平塚部で毛根本秀夫方から國
農村として期待されてゐたボン、海軍用夏襦袢

機の突破には是非とも必要、遠慮なくとし、やつて欲しい市
郡民も正しき者は全面的に支援すること疑ひなし、安んじてや
つて貰ひたい

通総理、即ち内閣への効果さへはり見えず、逆に新聞インフレの現象いよ／＼濃厚とある憂ふべき哉！斯くて政局の安定と思ひ切つた大手術の一日も早からむことが祈られる

